

# 遠賀

No.145 2017. 2.10

発行 / 福岡県遠賀町議会

議会だより

おんがちょう



## 特集

### 新春対談

12月定例会

10月臨時会

委員会レポート

一般質問

議会広報モ二タ一募集

・・・ 2

・・・ 4

・・・ 6

・・・ 8

・・・ 9

・・・ 18

今年も笑顔ですごせますように

1月1日

『一夜で咲いた菜の花畑』の昔話で有名な広渡区ひろわたるくの八剱神社では、今年も地域のたくさんの皆さんがお参りをされ、里帰りした若い家族連れが参拝する姿も見られました。

なお、八剱神社では、毎年1月1日の午前0時から午前1時まで、初詣行事が行われます。



監督の胸に金メダルを...

# 新春対談



**議長** お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。ありがとうございます。

全国交流レガッタ大会、優勝おめでとうございます。

皆さんは平成28年、本町で凛と輝いた、魅力ある女性だと思います。

本日はよろしくお願ひします。

## 全国交流レガッタ大会優勝

**議長** まずは、全国大会優勝の感想を聞かせてください。

**岩熊さん** スタートはいつも飛び出しますが、最後までついていけず、今回も接戦だったので、2位だと思っていました。

あとから1位だと聞いて、本当にうれしかったです。今回が一番感動しました。

**吉畑さん** 監督に金メダルをかけたかと思つていました。

スポーツで感動を与えるのは、こういうことなんだと気付きました。

家族にも支えてもらつていたので、恩返しがありました。

**石栗さん** 優勝できるとは、夢にも思つていませんでした。

レガッタの聖地といわれる戸田市で優勝できたことは、本当にうれしかったです。

**前田さん** 今年が最後だとい



力漕するロックベアーズ（手前）

## 謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

町民の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。また、日ごろから町議会に対する温かいご理解と絶大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今回、第25回全国市町村交流レガッタ戸田大会に出場し、見事全国優勝されたロックベアーズの皆さんと対談の機会をいただきましたので、対談の様子を一部ご紹介します。

遠賀町議会 議長 古野 修

う気持ちで、皆で力を合

2位かと頭によぎつてい

優勝したいという欲で

## 町民レガッタ

今後のチーム活動につ

町内でも朝日レガッタと共同開催で、町民レガッタの大会をやつて

## レガッタを続ける上で大変なこと

**議長** 家庭と仕事を両立

**岩熊さん** 単独開催は大変で

しながら、練習をする大

お世話する人も限られるし、朝日レガッタも単独だと選手中心の試合になると思います。

**前田さん** 基本練習は曜日を

あとは、町が考える今後の方針もあると思いますが、人が集まり、にぎわうのは共同開催の方が良いと思います。

**岩熊さん** あとは、欲と根性

**議長** レガッタ運営の人員の問題もありますね。

もつと遠賀町の魅力も盛り込むようにできればいいですね。

**岩熊さん** 町民が審判などの運営に携わることが大切ですかね。

**前田さん** 勝負思考で行くのか、交流目的なのか、それによって方向性が変わると思います。

また、ボートの出し入れなども大変で、新しく参加するのも難しいと思います。

**議長** レガッタに参加する環境を整えるの必要ですね。

**前田さん** 町民の方も気軽に参加できればいいですね。コースの距離を短くするなどの、参加しやすくする工夫も必要になると思います。

### 遠賀町の魅力

**議長** 最後の質問になりますが、遠賀町の良いところと良くないところを

教えていただいているか。

**吉野さん** 良いところは、ちょうど良いコミュニケーションがあるところだと思います。周りには、いい人がたくさんいて、子育てのしやすい町だと思います。

でも、駅南側は、買い物などの生活する上での利便性が少し悪いと思います。

**前田さん** 好きだから住んでいます。住みやすい町だと思います。

良くないところは、町内に働く所が少ない、宿泊施設などもないし、もつと人が集まれば良いと思います。



話題は、まちづくりにも及びました

をすべて持つてくれば良いというものでもないで、町民、行政、議会がみんなで、良い町をつくるのが大切だと思いますね。

**岩熊さん** 駅南地区にも昔は良い店がいろいろありましたが、少しずつ減っていききましたね。

**議長** 駅南地区の買い物利便性なども、道路整備など少しずつ進んでいるので、皆さんの意見を参考に開発を進めていきたいですね。これからもまた、魅力あるまちづくりを進めていきたいと思っています。本日はどうもありがとうございました。

後列右から

稲富しのぶさん  
加藤 暢子さん  
石栗 清皆さん  
吉野ひとみさん  
林 佐菜子さん

前列右から

古畑 雅子さん  
岩熊 正春さん  
前田 妙香さん



満面の笑顔の皆さん



**ロックベアーズ**  
(監督 岩熊 正春 さん)

#### 【プロフィール】

平成17年、別府女子チームである「ミラクルズ」の岩熊コーチが監督に就任、監督の名前からチーム名を「ロックベアーズ」に改名し、再スタートする。

平成23年大会で準優勝の後、優勝という目標に向かって練習を続け、念願の初優勝に輝く。

#### 【全国市町村交流レガッタの主な成績】

- 第20回大会 準優勝 (平成23年 兵庫県豊岡市)
- 第22回大会 準優勝 (平成25年 新潟県阿賀町)
- 第23回大会 準優勝 (平成26年 秋田県大潟村)
- 第25回大会 初優勝 (平成28年 埼玉県戸田市)



12月定例会は、平成28年12月5日から16までの12日間開催されました。  
議案は、条例制定・改正や平成28年度補正予算、請願など17件が上程され、慎重審議を行いました。

## 条例制定

農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定  
(賛成多数可決)

農業委員会等に関する法律の改正により、農業

委員会の委員および農地利用最適化推進委員の定数を定めるもの。

農業委員の定数は8人とし、選出方法は、従来の公選制から町長が議会の同意を得て任命する方法に変更する。農業委員の過半数は原則として認定農業者でなければならぬ。

農地利用最適化推進委員の定数は7人で、農業委員とは別に、担当区域における農地等利用の最適化の推進を行うために新設する。

## 条例改正

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正  
(賛成多数可決)

国の通達では「委員に

は職務の的確な遂行を前提として、報酬水準の引き上げを検討するもの」とあり、次のように改正するもの。

農業委員会	役職	新	旧
	会長	290,000円	278,000円
	副会長	270,000円	251,000円
	委員	260,000円	241,000円
	農地利用最適化推進委員	242,600円	-

### 平成28年度

## 一般会計補正予算

1億7577万円増額  
(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

第4回目の補正予算は、1億7577万円を増額し、予算規模は89億816万円になりました。

### 【主なもの】

臨時福祉給付金

5400万円

軽減税率の適用が、平成31年まで先送りになったことに伴い、低所得者向けに軽減税率の補填として、2年半の差額相当分を一括して支払うもの。  
対象者は平成28年1月1日現在、本町に在住し、平成28年度非課税の町民であること。

対象者3600人に対して、1万5000円を支給する。

償還金利子及び割引料

1301万円

障害児・障害者の福祉サービス通所に伴う、国

および県負担金の余剰金を、実績に基づいて返還するもの。

図書館改修費

4986万円

遠賀町立図書館は、平成13年供用開始後、空調設備に経年劣化が進んでいるため改修を行うもの。

障害者福祉支援事業

602万円

郡内4町合同で運営する生活介護事業が黒字化したことに伴い、利益を4町で配分するもの。

ひとり親家庭等医療費

200万円

ひとり親家庭の増加により、今後、医療費が増えることが予測されるため増額するもの。

調査分析等業務委託費

200万円

平成29年度予定の地域公共交通網形成計画策定のため、基礎調査を行うもの。

看板設置業務委託料

103万円

企業誘致用看板として、町内5カ所に設置するもの。

駅南駐車場工事請負費

384万円

駅南に利用料金1日2



駐車場として整備される予定地

## 特別会計補正予算

(万円未満四捨五入)

国民健康保険事業特別会計  
(全員一致可決)  
5865万円

国保事業を県に移行するためのシステム改修費、ならびに医療給付費等交付金の清算に伴う償還金、および国保税を徴収するための自動車を購入するもの。

学校給食事業特別会計  
(全員一致可決)

272万円

食育交流・防災センターの給排気自動制御システムおよびコンテナ消毒機・洗浄機の電気代の増によるもの。

## 町道認定

町道路線の認定

(全員一致認定)

宅地開発のために防災等の観点から、一定基準を満たす道路を整備し、町道として認定するもの。

◆認定路線

・古作1号線

(大字鬼津古作1434

番3地先から1427

番6地先まで)

・古作2号線

(大字鬼津古作1434

番9地先から1434

番11地先まで)

・唐戸口2号線

(大字広渡唐戸口210

1番1地先から210

1番13番地まで)

## 請願

障害者差別解消法に関する条例等の制定を求める請願書

(全員一致採択)

平成28年4月1日に、「国や地方公共団体は、障害を理由とする差別の解消の推進に必要となる施策を策定し、実施する」ことを趣旨とする障害者差別解消法が施行された。

しかし、障害者差別解消法は、あくまでも理念であり、実効性を伴うためにも遠賀町においても、障害者差別解消法に関する条例の制定や施策の策定等、具体的な取り組みを求める。

## 意見書

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

(賛成多数可決)

(関係機関に送付)

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任も

格段に重くなり、地方議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。

しかしながら、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員の年金制度を時代にあわせて、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度の加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

## 議会議員政治倫理条例ができました

議会議員政治倫理条例は、平成28年12月16日の定例会最終日に議員提出議案として上程され、全員一致で可決し、即日施行されました。

### ◆議会議員政治倫理条例の目的

議員が町民全体の奉仕者として、人格と倫理の向上に努め、その地位による影響力を不正に行使して、自己の利益を図ることのないよう必要な措置を定める。

本条例は、町政に対する町民の信頼に堪えるとともに、公正で開かれた民主的な町政の発展に寄与することを目的とする。

を請求することができる。  
(1) 政治倫理基準に反する疑いがある場合。  
(2) 町工事等の請負契約に関する遵守事項に違反する疑いがある場合。

取り計らいをしないこと。  
・町職員の公正な職務執行を妨げ、その権限またはその地位による影響力を不正に行使する働き掛けをしないこと。  
・町職員の採用、昇格、異動に関して推薦や紹介をしないこと。

・町が助成している団体や町の直轄する団体等の代表に就任しないこと。  
○町工事等の請負契約に関する遵守事項(第4条)  
・議員の配偶者と2親等以内(姻族を除く)の親族、そして議員が役員を

している企業や議員が実質的に経営に携わる企業は、町工事等の請負契約を辞退するように努めなければならない。  
○調査請求権(第5条)  
・町民と議員は、次の理由がある場合、証明する資料を添えて議長に調査

○政治倫理基準(第3条)  
・町工事等の請負契約に関する特定業者を推薦し、または紹介する等有利な  
※条例の全文・説明は、遠賀町ホームページで公開しています。



財産の取得  
(万円未満四捨五入)

財産取得

(全員一致可決)

国道3号線沿いの別府広場を硬式野球用グラウンド、テニスコートとして整備するために取得するもの。

●財産の種類

土地

●所在

大字別府4074番の1

他27筆

●面積

2万9181㎡

●売買金額

5億6500万円

●契約の相手方

大字今古賀513番地  
土地取得特別会計代表者  
遠賀町長 原田 正武

財産取得

(全員一致可決)

駅南老良・上別府線2工区の事業用地として取

得するもの。

●財産の種類

土地

●所在

大字木守187番地4

他31筆

●面積

1万2249・44㎡

●売買金額

1億5436万円

●契約の相手方

大字今古賀513番地  
土地開発公社  
理事長 行事 和美

契約  
(万円未満四捨五入)

老良・上別府線(2工区)  
地盤改良工事請負契約の  
変更

変更

(全員一致可決)

老良・上別府線(2工区)地盤改良工事の請負  
契約締結後に、材料の変  
更や土木等の増工により、  
工事請負契約を変更する  
もの。

もの。

主な変更点は、地盤改  
良工事に使用する盛土用  
の砂の仕様変更に伴う金

額の増加および、公共残  
土の受け入れにかかる費  
用の発生によるもの。

●請負金額

変更前 5508万円

変更後 7481万円

平成28年度  
一般会計補正予算  
12億1697万円増額  
(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

第3回目の補正予算は、  
歳入歳出それぞれ12億1  
697万円を増額し、総  
額87億3240万円とな  
りました。

【主なもの】

学校施設空調設置工事費

2億1611万円

浅木小学校・遠賀中学  
校・遠賀南中学校に空調  
設備を設置するもの。

学校施設整備委託料

300万円

島門小学校のトイレ改  
修を行うため、設計委託  
を行うもの。

ふるさとの原風景創出事  
業工事費

80万円

道官から芦屋町に向か  
う遠賀川河川敷に長さ2  
00m・幅2mの菜の花  
の花園をつくるもの。

別府広場工事費

1億1000万円

国道3号線沿いの別府  
広場のグラウンドとテニ  
スコート用地の暗渠排水  
工事、トイレ改修、駐車  
場整備等を行うもの。



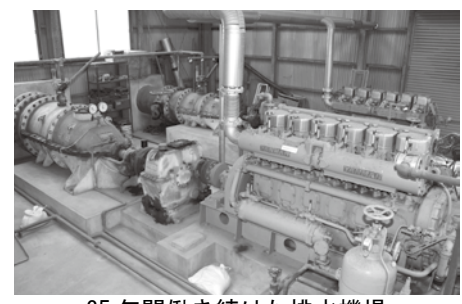
整備される別府広場

虫生津排水機維持費

3000万円

虫生津排水機場の排水

ポンプ2基の更新と建屋  
の新設費のうち、10分の  
1を負担するもの。



35年間働き続けた排水機場

交通安全施設設置事業工  
事費

200万円

上別府高家排水機場付  
近の横断歩道およびグリ  
ンゾーン化に伴い、周  
辺の整備を行うもの。

道路新設改良測量、設計  
費

4350万円

戸切川バイパス工事に  
伴い、山手線千代丸アン  
ダーパスを迂回するため  
千代丸から遠賀中学校横

まで新設道路の測量、設  
計を行うもの。



降雨時、危険な千代丸ガード下

道路改良工事費

1億2600万円

若葉台周回道路、山手  
線鬼津から尾崎間、尾崎  
久留米運送前付近の道路  
舗装工事を行うもの。

橋梁維持測量、設計費

1500万円

町内橋梁維持のため補  
修工事の測量、設計を行  
うもの。

橋梁維持工事費

500万円

広渡唐戸口橋の補修工  
事を行うもの。

住宅管理修繕費

190万円

緑ヶ丘団地1戸、虫生津団地1戸の受水槽や給水設備の修繕を行うもの。

住宅管理工事費

2584万円

道官団地3棟6戸の屋根および外壁の改修工事を行うもの。

特別会計補正予算

(万円未満四捨五入)

土地取得特別会計

(全員一致可決)

5億6500万円

町有地売却による不動産売り払い収入を一般会計に繰り出すもの。

学校給食事業特別会計

(全員一致可決)

3800万円

広渡小学校敷地内の旧給食センターを解体し、跡地を災害時の避難場所として整備するもの。



改修工事が進む道官団地

老良・上別府線改良事業  
公有財産購入費

2923万円

老良・上別府線(2工区)改良事業用地の確定後の売買金額に、当初予算との差額が生じたもの。



避難場所に整備される旧給食センター

賛否が分かれた議案 (○：賛成 ▲：反対 欠：欠席 退：退席)

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
会議名	議案名	議員名	濱岡	仲摩	尾下	二村	萩尾	田代	濱田	中野	加藤	仲野	織田	萩本	古野
12月定例会	遠賀町農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○
	遠賀町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○
	遠賀町証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○
	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書案の提出について	○	○	○	○	○	▲	退	○	○	○	○	○	○	○

※ 全員一致の議案は除いています。

町村議会広報研修会

平成28年11月22日、県

町村議会議長会主催の議会広報研修会が、自治会館(福岡市)で開催されました。吉村潔さん(エディター・広報アナリスト)を講師に迎え、「動く議会、変わる広報」住民に読まれ、支持される広報づくり」というテーマで行われました。

吉村さんは、「広報紙は、住民の皆さんが、議会を身近に感じることが重要だ」と強調され、そのためには、地域での活動や各種団体との交流の実施など、議会が地域の課題解決に取り組み、住民に寄り添う姿を発信することが大切と言われます。また、議会の存在感を示すことも必要で、「結果の報告」だけを広報紙に載せるのではなく、審議や意思決定のプロセスなど、議会活動の経過と成果を住民の皆さんに分か



広報紙づくりについて講演する吉村さん

りやすく公開しなければなりません。広報紙の必須条件は、手に取って読んでもらうことです。そのため目立つ表紙が大きなポイントとなります。私たちも日頃から、インパクトのある表紙の必要性を痛感していますが、吉村さんの言われる「硬い議会だより」のイメージを一新するような表紙写真は、なかなか撮れません。

一方、先進自治体の事例から、幅広い世代に関心を持つてもらうためには、スマートフォンでも気軽に読める広報や視覚に訴える広報など「紙」だけではなく、多様なメディアを駆使して、情報を発信することも効果的だと再認識しました。今回の研修では、議会広報クリニックも行われ、本町の議会だよりについては、写真の構成をはじめとして、全体的にいい出来栄えとの評価をいただきました。また、私たちが行っている住民の皆さんとの意見交換会や議会広報モニターなど、住民参加型の取り組みについても高い評価をいただきました。しかし、「住民参加型の取り組みを今後の議会活動に、どう生かすかが大切だ」との指摘もあり、今後の課題となりました。今回の研修を参考に、住民の皆さんに読んでいただける「議会だより」を作っていきたいと思いました。





# 委員会レポート

今年度から、第一・第二常任委員会では、行政課題の解決や政策研究のため、所管課職員と共に、先進的な取り組みを実施している自治体への視察・研修を行うことになりました。

## 第二常任委員会視察

平成28年11月1日・2日、京都府久御山町と、滋賀県長浜市の視察に行きました。

今回の視察の目的は、企業誘致や観光地としての取り組みに成功している自治体を調査し、本町にも取り入れ可能な施策などを研究するものでした。

1日目は、久御山町を訪問し、補助金に頼らない町政について説明を受けました。

久御山町は、昭和41年

の国道1号線開通を契機に、東西南北の交通結節点となった地の利により、多くの企業が進出してきてきました。

企業が進出し、従業員が増え、久御山町は自主財源が豊かな自治体として、発展してきました。

一方で、近隣自治体に工業団地等が整備され、企業が撤退したため、人口減少などの問題に直面し、自主財源比率が少しずつ減少していく中、地の利に頼らない町政が、久御山町の今後の課題であるとのことでした。

2日目は、長浜市を訪問し、黒壁の残る商店街の再生に取り組み、年間10万人にも満たなかった観光客が、200万人を超えるまでに成長した経過について、説明を受けました。



黒壁が残る長浜商店街

長浜市のまちづくりは、「黒壁銀行」と呼ばれていた、歴史的建造物である国立第百三十銀行の保存をきっかけに設立された、第三セクターの主導で始まりました。第三セクター主導の活性化計画では、補助金に頼る運営ではなく、独立して採算が取れるよう、ガラス工房を運営しながら黒壁のコンセプトに添ったまちづくりが進められており、本町にも参考になりました。

視察しましたが、平日にもかかわらず多くの観光客でにぎわっており、活性化計画が成功していることを実感しました。2日間で訪問した二つの自治体は、共にまちづくりの参考になり、今回の研修で学んだことや発見したことを、単なる記憶ではなく、本町でも取り入れることができないうか、さらに勉強して本町の発展のために積極的に活動したいと考えます。

## 第一常任委員会視察

平成28年11月7日・8日、ふるさと納税の寄附金額が全国でも上位の宮崎県綾町と鹿児島県大崎町を訪問しました。

現在、綾町の返礼品は「ぶどう豚」など、130種類以上もの特産品を用意しており、平成27年度の実績では、寄附件数が約8万5000件、寄附金額は約13億8000



ふるさと納税への熱い思いを感じました（綾町）

万円にも上ります。

この要因に挙げられるのは、他の自治体に先駆けて、インターネットへの取り組みを行い、スタートダッシュを成功させたことにあります。

一方、大崎町は、日本創成会議による消滅可能性自治体の一つに挙げられ、この危機感が「ふるさと納税は最初で最後のビッグチャンス」とする必死の取り組みとなり、平成27年度には、寄附件

数が約6万4000件、寄附金額が約27億円に、前年度比250倍にもなりました。

大崎町の返礼品は「うなぎ」など、365種類以上もありますが、これは職員が、町内の事業所や農家などを回り、ふるさと納税のメリットを根気強く説明した結果です。両町では、「ふるさと納税はお金を集めることが目的」とは考えてはいません。まちのことを全国の方に知ってもらい、ファンを拡大・定着させることで、事業所や農家の所得が増え、雇用が促進され、人口増を狙うという中長期的なビジョンとして捉えています。

本町においても「ふるさと納税」制度をその後のまちづくりにどう生かすかが、大きな課題ですが、委員全員が情報を共有でき、これからの委員会活動に有意義な視察・研修となりました。



一般質問とは…

年4回行われる定例会で、議員が町に対して現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動の一つです。



はぎもと えつこ  
萩本 悦子

Q

# 障害児放課後等対策事業の にこにこクラブの今後は

A

## 民間の創意工夫を生かした事業実施 を行っていく



障害児放課後等デイサービス施設  
が建設されるふれあいの里西側駐  
車場

### 障害児放課後等対 策事業の今後は

**議員** 障害児放課後等対

策事業の「にこにこクラブの今後については、国の補助が受けられる「障害児放課後等デイサービス事業」への移行を提案してきたが、町長は平成28年3月の施政方針で、平成29年に「デイサービス事業へ移行することを明言された。現在の進捗状況を尋ねる。

**議員** 事業の実施方法は、民間委託と考えてよいか。

**町長** 民間の事業所に施設を賃貸し、町の要望を取り入れた形で、事業を自主運営していただく方向を検討している。

事業所は、町内のNPO法人を予定している。  
**議員** 開設時期は、いつ頃を予定しているのか。  
**町長** 現在、県と協議を行っている。開設は予定よりも少し遅れるが、平成30年4月1日になるよう進めている。

**議員** 施設は、ふれあいの里ということだが、具体的にはどのあたりを考えているのか。  
また、施設の整備は、どのように行うのか。

**町長** ふれあいの里内の文化財展示場前、西側駐車場を予定している。施設の整備については、児童が療育等の活動を行う指導訓練室、静養室、保護者等の相談を受けるための相談室、職員の仕事室等が必要となる。将来、定員増となった場合にも対応できるようにある程度、余裕を持った施設にできればと考えている。

**議員** 現在の「にこにこクラブ」の一番の問題点は、送迎がないことだ。どのように考えているのか。  
**町長** ふれあいの里の立地を考えても、送迎は必要必須と考える。そこで事業所の方が、送迎用の車を購入し、送迎をしっかりとやっていただくことを事業実施の前提としている。

**議員** 利用者負担は、どのように考えているか。  
**町長** 国の基準に基づいて、一日900円から1000円程度を予定している。

※この他にも「コミュニティ助成事業」について質問しました。



## J A北九遠賀支店跡地の利用方法は決まったのか



駐車場は暫定的な利用で、町の構想を引き続き協議していく



おだ たかのり  
織田 隆徳



暫定的に駐車場が設置された  
J A北九遠賀支店跡地

**J A跡地の利用方法は決まったのか**

**議員** J A北九遠賀支店跡地に駐車場が設置されたが、設置された経緯と利用方法が決定したのか尋ねる。

**町長** 暫定的にJ R九州の子会社に貸し付けている。奥エリアの農業倉庫を移転して葬祭場の建て替えを計画しており、駐車場部分の活用については町が求めている構想や機能を引き続き協議していく。

**駅前周辺整備と一体で利用すべきだ**

**議員** J A跡地は、駅前周辺整備と一体で利用すべきだ。J A側の考えに変化がうかがえるが、一体整備が可能なのか尋ねる。

**町長** J A側は、町が主体で開発してくれとの意向であったが、町は民間開発を想定しており、町

の直接施工による開発は計画していない。

J A側には、駅前商店街の振興と遠賀川駅舎の改修、駅前サービスセンター機能の充実、J A跡地の活用を構想として示し、協議してきた。町が主導的に話を持つていく覚悟で協議を行う。

**高齢者や若者の声を反映した活用を**

**議員** 駅周辺は高齢化が進んでいる。高齢者や若者の声を反映した活用をすべきだ。

**町長** 買い物困窮者の問題もあり、第2やさい畑やコンビニ等も有効ではないかと考えている。J A側との協議をしっかりと行っていく。

**企業の製品を情報発信すべきだ**

**議員** 町内企業は特色ある製品を製造している。町として、製品の情報発信を行い支援すべきだ。

**町長** 今年度策定中の産業振興計画の中で、織り込んでいきたい。

**中学校の統合を検討すべきだ**

**議員** 遠賀南中学校が開校した昭和59年当時は、好景気で人口が増加した時代だ。しかし、将来、本町の人口は減少すると予測されている。

また、生徒数を見ると、遠賀中学校は330人前後で、クラス数が10から12、南中学校は140人台で、クラス数が5から7の間で推移している。教育の面から統合を検討する時期に来ているのではないかと。 **教育長** 小規模校のメリット、デメリットがある。生徒が減るから統合という考えはない。今のところ統合はしなくてもよいと考えているが、検討していきたい。

※ 一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ (<http://www.town.onaga.lg.jp/>)で公開します。





なかの 仲野  
しんざぶろう 新三郎



## 健康ポイント制度を導入する考えは



先進自治体の状況を見ながら実施できるように前向きに検討していく

健康ポイント制度が導入されている  
九州の自治体一覧（平成28年11月現在）

県名	自治体名
福岡県	宮若市
大分県	豊後高田市
佐賀県	鳥栖市
熊本県	天草市
宮崎県	小林市
鹿児島県	霧島市

※ 全国では鳥取県の県内全域導入を除き、82市町村で導入済み。

健康ポイント制度  
を導入する考えは

議員 個人の運動や食生活の改善、健康診断の受診・結果などに応じてポイント等さまざまな特典がもらえるという健康ポイント制度を導入して、

町民の健康増進や健康寿命延伸のための取り組みに積極的に参加していただけのようにしていくべきではないか。

町長 この制度を活用し、健康を維持していただく、医療費の削減を目指すこととで、さまざまな自治体や健康保険組合で実施されている。先進的に実施している自治体の事業効果等の状況や国の動向、効果の検証方法等の情報を収集しながら実施する方向で検討していく。

健康診断の受診率  
向上の取り組みは

議員 メタボリックシンドロームを主とした生活

習慣病対策のために特定健診・特定保健指導が制度化されている。ひいては医療費の削減にもつながる。平成27年度の受診率は35%と本町が目標としている60%とは大きく離れている。受診率向上のための取り組みは。

町長 集団検診を各地区公民館で実施しており、土曜日・日曜日は中央公民館やふれあいの里で実施することで、現役世代の対象者が受診しやすいようにしている。また、未受診者への受診券の再送付や電話による勧奨を行っている。

がん検診については特定健診と同時実施を行い、乳がん・子宮がんについては集団検診・個別検診を実施し、受診しやすい環境づくりに取り組んでいる。

議員 現在は集団検診の土日実施日が4日間しかないが、これを増やしてさらに受診率向上に取り組む必要があると考える。また、小さなお子様がいらっしゃる方が受診しやすいように、現在は2日間だけの託児日数の増加や、女性が受診しやすいように、レディースデイを設ける必要性も感じている。特に、待ち時間解消の対策として、他の自治体では、出勤前に受診できるように早期検診の導入や、完全予約制で行うなどの対策を積極的に取り組んでいる。

本町でも受診の際の待ち時間の解消が、受診率向上につながると考えるが、その対策は。健康とも課長 今年度から予約の時間を小刻みにして待ち時間が少なくなるよう取り組んでいるが、やはり待ち時間が長いというご意見があるので対策を考えたい。



## 野菜価格高騰でメニューの内容や給食費に影響は



年度当初に単価契約を交わすことで現在のところ、影響はない



かとう よういちろう  
加藤 陽一郎



給食は栄養バランスのとれた食事

### 野菜価格高騰で給食に影響はないか

**議員** 野菜生産地で台風や天候不順が続く10月には高騰し、その後も日照不足で秋野菜も高騰が続いている。学校給食のメニューの内容や給食費に影響がないか尋ねる。

**教育長** 夏場から頻発した台風等により、野菜価格が高騰していることは承知している。

福岡県の学校給食会が生産農家と契約栽培をし、安定した価格で供給を受けており、またJAや地元青果店とも年度当初に単価契約を交わすことによつて、価格の変動があつても現在のところ影響はない。

今後、価格の高騰が続く、給食費への影響が懸念される状況が発生した場合には、献立の工夫を行いながら、栄養価を落とさずバランスのとれた給食を提供する。

**議員** 学校給食の目的は、心身の健全な発達に資するものであり、かつ児童および生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものである。

また、自宅で食事を取れない子どものため、今、全国各地に「こども食堂」というものがあるが、カローリーと栄養を勘案して作られた給食の位置付けは重要で、今後も努力をお願いする。

**教育長** 野菜の高騰だけではなく全体の物価が上がつた場合には給食運営協議会にかけ、判断していくことになる。

### ふるさと寄附金一括代行の効果は

**議員** 広告業者と連携した返礼品の情報発信、返礼品の発送、寄附金の情報を含めた一括代行サービスを始めたが、効果の兆しは出ているのか。

**町長** 11月から一括代行

サービスを始めたが、大きな変化は確認できてない。専用のホームページの作成により、寄附者側の手続きが円滑化したことや委託業者の専用サイトへの登録により、地域に根差した返礼品のPR効果が徐々に出てくることを期待している。

**議員** 魅力ある返礼品を発掘する努力をもっとするべきではないか。

**町長** 一次募集に引き続き、今、二次募集のため事業所訪問など開始し、返礼品の充実を図つており、地場企業とタイアップも含めて一生懸命努力をする。





なかま やすひろ  
仲摩 靖浩



## J A北九跡地にコンビニが計画されなかった理由は



協議の結果、コンビニは民間開発の採算が難しいとの結論に至った



J A北九跡地にはコンビニではなく、コインパーキングが整備された

### J A跡地の利用計画変更の経緯は

**議員** 平成27年12月議会で、町長は「J A跡地にコンビニ等の出店を模索し、関係者との協議を行う」との答弁をされたが、J Aはコインパーキングを建設した。コインパーキングの建設に至る経緯について尋ねる。

**町長** 平成27年8月より、関係者とコンビニ誘致の協議を続けたが、平成28年8月下旬、民間開発での採算が難しいとの話が出て、現在に至った。

**議員** J R小倉・博多間の駅で、500m以内にコンビニがないのは遠賀川駅だけだ。コンビニ誘致が頓挫した今、再度駅利用者や地域住民が利用できるコンビニの誘致が必要だ。

**町長** 商圏・交通量不足などから、民間の積極的な出店はないが、駅の利便性向上や、近隣高齢者

の買ひ物環境の改善から必要性は痛感している。可能性を模索したい。

### 駅南に安価な駐車場の整備を

**議員** 駅北に安価な駐車場が整備され、駅南の需要が減少している。鹿児島本線がない近隣自治体の方に駅を利用してもらうには、駅南地区に安価な駐車場が必要だ。

**町長** 平成28年12月着工予定で、駅南に利用台数100台、1日200円の駐車場を整備する。

**議員** 既存の駐車場は、さらに利用者の減少が予想される。町は管理委託料を払い続けるのか。

**町長** 既存の駐車場は利用料を下げる等の対応を行う。管理委託料については再度協議していく。

**議員** 100台では足りないと考えるが、不足の実際に増設計画はあるか。

**町長** 150台までは増設可能なので対応してい

### 通学路の安全対策が必要だ

**議員** 平成28年12月、県下で「登下校中の児童に車で突っ込む」旨の犯行予告があった。本町では犯行予告の際に、どのような対応をとったか。

**教員長** 当日は各学校に集団下校をさせるとともに、教師に下校指導と注意喚起を行わせた。翌日からは青パトの他、車で登下校の見守りを実施した。

**議員** 尾崎・千代丸（以下、山手線）間と高瀬地区の道路は、通学路として安全が確保できていない。早急な対策が必要だ。

**建設課長** 山手線は、平成29年度に歩道のカラー化を予定している。高瀬地区は、公園の遊歩道を活用していく。通学路の安全対策は、国道3号線工事の影響も踏まえ、さらに対策を検討していく。



## 老良・上別府線の道路、供用開始後の活用方法は



はま おか 濱岡  
みね さと 峯達



## 遠賀川駅南土地区画整理準備組合と連携しながら進めていく



道路の有効活用はできないのか

道路の活用方法は考えられないのか

**議員** 老良・上別府線道路法面の活用方法として、町の花スイセンを植える考えはないか。

**町長** 道路は町が造ったが、後は、地権者を含めて土地区画整理組合が開発するので、現在は、準備組合の皆さんが協議をしている段階で、法面の活用ということにはならない。

**議員** 町内外から道路の有効活用としてアイデアを募る考えはないか。

**町長** 土地利用に関しては、遠賀川駅南土地区画整理準備組合と連携を取りながら有効活用を検討していく。町内外からのアイデア募集の考えはない。

**議員** 広大な土地に一本の道路が設置され、開通した時、駅南線には道路の両側に植栽ができるようにポケットがあるが、

老良・上別府線には見当たらない。

行政として、近隣の大學生や町民の皆さんから、アイデア募集はしないのか。

**町長** これから先、正式な区画整理組合が立ち上がった中でやっていくことなので、行政の方から住民の方にアイデアを募集するわけにはいかない。

供用開始後の交通量の予測は

**議員** 供用開始後どの程度の交通量を考えているか、シミュレーションはしたか。

**町長** 平成27年度老良・上別府線2工区を計画する上で交通量推計を行っており、現在、未使用でゼロ台だが、平成42年で5300台から9500台という結果が出ている。

職員の勤務状況をどう見ているか

**議員** 職員の勤務状況を

どのように把握しているか。

**町長** 基本的に、所属長が職員の勤怠について把握しており、人事評価の中で「職員の指導」「育成の状況」を記録するように指示している。これらを通じて職員の勤務状況を把握している。

**議員** 平成27年の12月議会の質問で町長は本町の職員は良くやっているかと答弁されたが、何を基準にして言われているのか。

**町長** 職員の勤務評価の中で、勤務評定に基づいた指標として捉えている。

**議員** 一般的に役場職員に対し、批判的な目で見られる人がいる。払拭する方法はないか。

**町長** もし批判的な目で見られる住民の方がいるというのなら、職員にそのようなことのないように指導していく。

※ 一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ (<http://www.town.onga.lg.jp/>) で公開します。





はま だ りゅう いち  
濱田 竜一



## 本町の起業支援に対する取り組みは



関係機関との強固なネットワークを構築し支援体制を整える



(仮称) 起業支援センター

本町の起業支援について尋ねる

**議員** 起業支援や、創業者が本町に事業所を置いてもらうための取り組みについて尋ねる。

**町長** 起業家同士の異業種交流会から、新たなビジネスチャンスが生まれる可能性があるため、(仮称) 起業支援センターの役割と存在を知っていたら、各種セミナーや交流カフェを多くの方に利用していただきたい。また、関係機関との強固なネットワークを構築し、支援体制を整える。

本町に事業所を置いていただくためには、町内の空き家、空き店舗、空き地などの情報提供や、改良資金や運営資金などの優遇、家賃や改装費などの一部補助などが必要になると考えている。

本町の企業誘致について尋ねる

**議員** 現在、本町の企業誘致に対する取り組みを尋ねる。

**町長** 本町では平成27年3月に、工場誘致条例を廃止し、新たに企業誘致条例を制定した。

また、必要に応じ企業立地に関する協定書を締結し、業者との総合調整協議を行い、企業や事務所の建設がスムーズに運べるように支援を行っている。

**議員** 企業誘致に必要な産業適地など、情報提供の手法を尋ねる。

**町長** 「未利用地や開発可能地での立て看板設置」「広報おんが、本町ホームページ、パンフレットの作成」「商工会、商工会議所、不動産協会との連携」「優良企業へのアンケート」「トップセールスによる企業訪問」などを考えている。

また、町有地を有効活用するため、本町の企業誘致啓発台帳整備業務と

して、現状調査などを行い、速やかに積極的な情報提供を図っていく。

**議員** IT企業などのソフト産業の誘致など考えているか、また、企業誘致のターゲットとなる業種などの想定はあるのか。

**町長** 産業立地条例では、豊かな自然環境に配慮し、交通の利便性を生かし、雇用を創出できる企業の誘致が望ましいと示している。

また、今後の本町を大きく左右する駅南地域については、住環境に優れた住宅の供給を進める上で、医療、健康、教育関連企業に加え、核となる商業系企業の誘致が求められる。

IT産業の誘致も、本町の平坦地の中で、環境整備の構築もあるが、ネット環境が整備された中で誘致していくべきだと思っている。



(注)  
アクティブ・ラーニング導  
入後の授業数の不足は



年間の授業計画を立てており、授  
業数が足りない状況にはならない



はぎ お おさ み  
萩尾 修身



風景  
アクティブ・ラーニングの授業

アクティブ・ラー  
ニングの授業は

**議員** アクティブ・ラー  
ニングが、次期学習指導  
要領のキーワードとなり、  
子どもたちが課題の発見  
解決に向けて主体的、共  
同的に学ぶことが求めら  
れるようになる。

その中で矛盾に感じる  
のが、質の向上とともに、  
量も求めていることだ。

道徳や英語などで授業数  
が増える中で教科書が終  
わらなくなったり、授業  
数が足らなくなったりし  
ないか。

**教育長** 学校が年度初めに  
年間の授業計画を立てる  
際に、学習内容、方法に  
軽重さをつけて、時間配  
分をどうするかを検討し  
ている。また、毎月、教  
務担当の主幹教諭が授業  
時数を含め、進度の調整、  
週指導計画などをチェッ  
クしているので、授業数  
が足りない状況にはなら  
ない。

**議員** 先生方の熟練度は  
どの程度向上しているか。

**教育長** 初任者が入って10  
年目20年目の先生とでは、  
力量が全然違う。研究協  
議会や研究授業、小中連  
携協議会に力を入れて、  
みんなで力をつけて子ど  
もたちの力を引き出そう  
としている。

**議員** 高成績を収める子  
どもは、アクティブ・ラ  
ーニングに意欲的だが学  
力下位グループの子は、

知識の引き出しが少なく、  
話し合いも深まらず、浅  
い学びになってしまいう  
の意見もあるが、これに  
対してはどういう考えを  
持っているか。

**教育長** とにかく勉強が苦  
手な低学力層の子に力を  
入れてもらうように、常  
日頃からお願いしている  
ところだ。

ふるさと納税に対  
する考えは

**議員** ふるさと納税の過  
度な競争によって、結果

的に地方税という少ない  
パイの奪い合いになって  
おり、基礎自治体の税務  
行政がいびつなものにな  
っていると感じる。税体  
系の中で受益者負担の原  
則から逸脱しており、サ  
ービス合戦という名の地  
域間競争になっている現  
状がある。競争がある以  
上、本町も戦略を練る必  
要がある。特産品にこだ  
わらない返礼品を考えて  
はどうか。

**町長** 本町は町の産業振  
興などにつながる生産物  
加工品やサービスである  
こと、寄附行為を機会に、  
町の魅力発信や本町との  
交流が深まることを基本  
に運用を行っている。  
先進地の事例を参考に  
しながら、現在の取り組  
みでふるさと納税寄附金  
制度の運用を図りたい。

(注) アクティブ・ラーニ  
ング

主体的、対話的で深い学  
び。

※ 一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ  
(http://www.town.onaga.lg.jp/)で公開します。





たしろ じゅんじ  
田代 順二

Q

高齢者の自宅からの移動手段に対する施策はあるか

A

費用対効果等の観点からコミュニティバスを運行している



鞍手町の乗り合いタクシー

乗り合いタクシーを検討しては

正規職員を増やす考えはないか

食時間後の歯磨き効果が出ていると思われる。  
入学準備金3月支給は検討したのか

**議員** 高齢者から、自宅前からの移動手段の要望があるが施策はあるか。

**議員** 本町の職員で正規ではない職員は何人か。

**町長** 自宅前まで迎えに行く運行形態は今まで検討したが、費用対効果等の観点から採用せず、現在のコミュニティバスを試行錯誤しながら運行している。

**町長** 非常勤職員は4人、臨時的任用職員は2人、育児休業等の臨時的任用職員が7人在籍している。パート、アルバイトで28人を雇用している。

**議員** 乗り合いタクシーを再度検討してどうか。

**町長** 今後の事業展開によるが、必要であれば正規職員の増員もあると考えている。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**教育長** 水巻町は平成29年3月からの支給を決めた。本町は審議や意見交換、協議もこれからだ。保護者への周知も必要で実施は見送る判断をした。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**教育長** 財政当局と協議して決めなければならない。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

**議員** 平成29年度に事業化するのは無理か。

# ものづくりは

## 演歌だ

郡内議員研修会

平成28年10月28日、岡垣町いこいの里で、株式会社筑水キヤニコム代表取締役会長である、包行均さんを講師に迎え、「ものづくりは演歌だ」という演題で講演会が開催されました。



ネーミングの楽しみを語る包行会長

筑水キヤニコムは、福岡県うきは市で農業・建設・林業用運搬車や草刈機などの製造販売をしています。

また、国内はもとより海外45カ国に販売拠点をもち、営業戦略や製品開発は独自性にこだわり、業界初の四輪駆動乗用草刈機「草刈機まさお」や雑草刈車「ブッシュカッタージョージ」など10年連続で「ネーミング大賞」を受賞しています。

包行会長は、お客様の「ぼやき」に正面から向き合い、義理と人情の

のづくりで商品を世に送り出す。ネーミングにユニモアがあるのはお客様との距離を少しでも縮めたいと願うから。また、高齢化する中、作業効率と労働力の軽減には四輪駆動乗用草刈機の開発は必須で、大変難しいものでしたが、平成27年度、内閣総理大臣表彰「ものづくり日本大賞」技術開発部門の優秀賞に繋がったことは社員みんなの努力だと感慨深く話されました。

### 皆さんの力で議会だよりをより良らもの

## 議会広報モニター募集

議会広報常任委員会では、「議会だより」に関して、町民の皆さんからの意見や感想、提言などを幅広くお聴きするため「議会広報モニター」を募集します。

#### ● 仕事内容

▽「議会だより」に対するアンケートの記入  
▽モニター会議への出席  
(年2回程度)

#### ● 対象

次の条件をすべて満たす人  
①本町に住んでいる20歳以上の人  
②議会広報に深い関心があり、公正な社会的見識がある人  
③現在、常勤の公務員でない人

#### ● 申し込み方法

▽「議会事務局(役場2階)に準備している専用の申込用紙に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業と、応募の動機または議会だよりの感想を記入し、提出してください。

#### ● 締め切り

2月28日(火) 午後5時15分(必着)

#### ● その他

▽モニターの選考は、年齢や性別、居住地域などを考慮し、厳正に行います。

#### ● 募集人数

5人以内  
任期 平成29年4月1日～平成30年3月31日

#### ● 申し込み・問い合わせ

遠賀町議会事務局  
〒811-4392  
遠賀郡遠賀町大字今古賀513番地  
☎093(293)1235

## 3月です

今回の定例会は

詳しい日程は、2月下旬に遠賀町ホームページ(<http://www.town.onga.lg.jp/>)でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。  
遠賀町役場・遠賀町中央公民館・ふれあいの里センター・駅前サービスセンター  
※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。

### あ と が き

平成29年酉年がスタートし、新年の本町の行事として、新成人を祝うため遠賀町中央公民館で成人式が盛大に行われました。

会場では、華やかな着物姿やスーツ姿の新成人が、かつてのクラスメイトと久しぶりの再会で、二十歳の門出を共に喜び合っていました。

謝辞を述べた新成人代表は、両親や家族、先生方や多くの方々に支えられ、成人を迎えられたことに感謝し、希望ある未来に全力を尽くしたいと誓いました。

次世代を担う若者たちが夢を持ち続けられるために、「任んでよかった」として「任み続けたい」と思う町をつくっていきたいと思います。

中野 嘉徳

### 遠賀議会だより

発行責任者

議長 古野 修

議会広報 常任委員会

委員長 中野 嘉徳

副委員長 萩本 悦子

委員 浜岡 峯達

仲摩 靖浩

尾下 康文

濱田 竜一

発行／福岡県遠賀郡遠賀町議会  
編集／議会広報常任委員会

☎093(293)1235